

国内MBA・MOTの 特色と入試対策

河合塾KALS新宿校
鄭 龍権

0

©2023 Ryuken Tei

本日のながれ

- ビジネススクールの理解
- ビジネススクール入試の現状と特徴
- 入試突破のためのポイント
- 河合塾KALS講義の特徴とスケジュール例

【注意】
本スライドに記載された情報は、2023年3月14日現在のものです。
最新情報と異なる場合がございますので、ご了承ください。

1

1

ビジネススクールとは

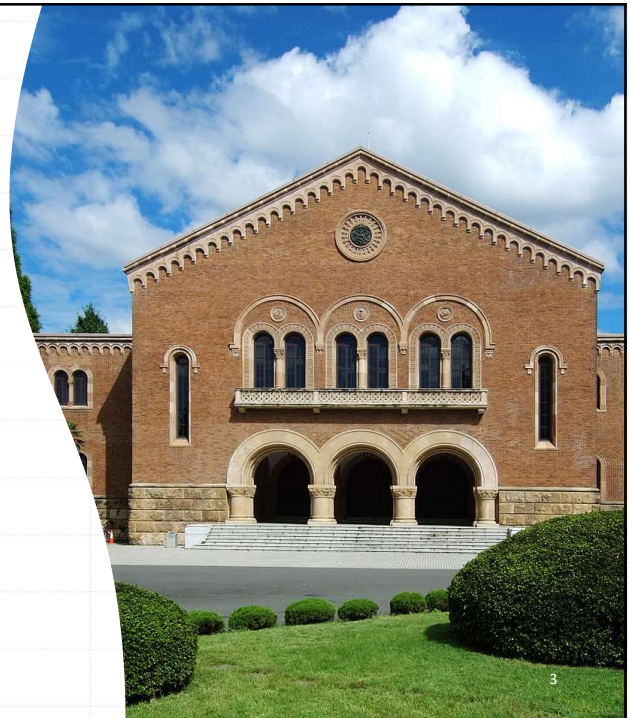
- 国内外の将来を担う**ビジネスリーダー**を育成する場
- 標準的な大学院
 - **短期的なゴール**は共通している
 - 研究者、資格（臨床心理士試験、税理士試験）など
 - 専門性に特化したカリキュラムをこなす → 入学試験で**学部レベルの知識**が必要
- ビジネススクール
 - 入学者のゴールは**ひとつではない**
 - キャリアアップ・チェンジ、事業承継、起業…
 - 多様なキャリアプランに対応できる体制が必要
 - 入学試験で高度な専門知識を問うケースは**ほぼない**
 - 必修科目で経営の基礎を学び、2年目で専門性を求める

2

2

主要校の紹介（国公立）

- 一橋大学大学院 経営管理研究科
 - ワークショップ重視（1年次から積極的に参加）
 - 経営財務・金融戦略プログラムは、研究計画書の分量が多いため、**文章力の強化とテーマ選定（ビジネスに関連するもの）**がポイント
- 筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院 経営学学位プログラム
 - リサーチ重視
 - 主査による計画サポート、定期的な進捗管理
 - 定量分析に強みがある
- 東京都立大学大学院 経営学研究科
 - 丸の内サテライトキャンパス
 - 研究と実務とのバランスを意識したカリキュラム
 - 筆記試験で経営学の基本知識が問われる
- 神戸大学、京都大学、九州大学なども開講



3

3

主要校の紹介（私立）

- 早稲田大学大学院 経営管理研究科（WBS）
 - ・ 国内最大規模、多様なバックグラウンド
 - ・ 科目のバランスを考慮した総合プログラムと、専門性を意識したプロフェッショナルプログラムが並存
 - ・ 全日制グローバルは留学生多め
 - ・ 一年制総合は企業派遣主体
- 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科（ABS）
 - ・ 志望校調査を通じて第一志望に切り替える方が多い
 - ・ プラクティカル、アクション・ラーニングに高い評価
- 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科（KBS）
 - ・ ケースメソッド：チームワーク、ディスカッション重視
 - ・ 留学生の人気の高まっているため、倍率が高まっている



主な認証機関

機関名	特徴	主な取得校（国内）
AACSB 	米国拠点の認証機関 世界60か国で926校が認証取得（注1）	慶應義塾大 早稲田大 名古屋商科大 国際大 立命館アジア太平洋大（注2）
EFMD 	欧州拠点の認証機関 機関単位で認証するEQUISと、 プログラム単位で認証するEPASがある	EQUIS：早稲田大 名古屋商科大 EFMD Accredited：青山学院大 明治大
AMBA 	イギリス拠点の認証機関 実務経験を有する社会人プログラムを実施 することを認証条件としているのが特徴	名古屋商科大 立命館アジア太平洋大（注2）
大学基準協会	1947年設立 国内大学全般の品質管理を担う 2008年、 経営系専門職大学院の認証評価を開始	国内MBA全般

（注1）数値は2021年11月16日時点のもの

（注2）国際大学、立命館アジア太平洋大学は海外MBAに準拠した入試形式を採用している

ビジネススクール入試の特徴

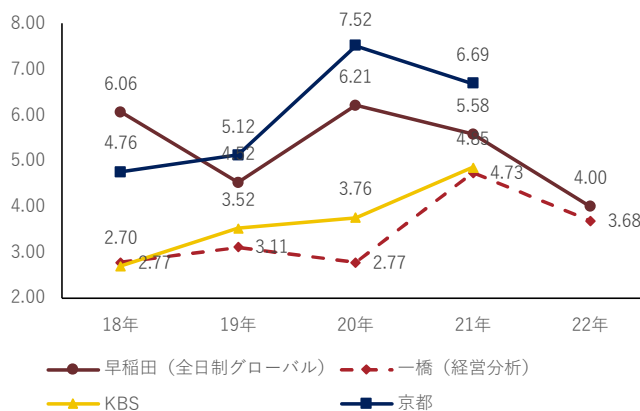
- 全体構成
 - 出願書類、筆記試験、面接試験
- 出願書類（願書 **+a**）
 - ビジネススクールによって「+a」の名称、質問内容が異なる。
 - 将来計画書（一橋）、研究計画書（神戸、筑波など）、入学志願者調書（KBS）、エッセイ（WBS）など
- 筆記試験
 - 合格最低点近辺だと面接で不利 特に一橋、WBS、神戸は対策が重要
- 面接試験
 - 出願書類（志望動機、学習・キャリアプラン）を中心に質問
 - 面接形式は受験者1名：試験官2～3名、時間は15～20分

出願書類や筆記、口述のバランスが重要！

6

6

直近の入試傾向（フルタイム）



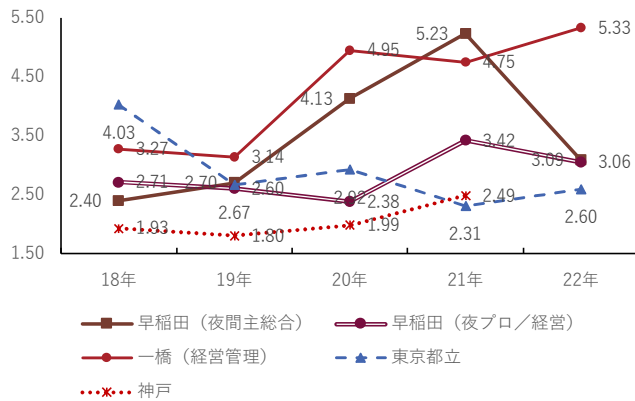
- 外国人留学生や大学4年生の受験が増加したことにより、競争が激化している
- 2022年秋入試はコロナウィルス感染症拡大による駆け込み需要が一段落し、一橋、早稲田ともに3倍程度で推移している

(注) 2022年入試は速報値
KBSは全方式合算、それ以外は一般入試のみの数値

7

7

直近の入試傾向（パートタイム）



- 2020年度から2021年度にかけてはコロナウィルス感染拡大に伴う経営環境悪化を懸念し、受験者数が増えた
- 一橋、早稲田を軸に、人気校への出願が高まっている
- 都立大、神戸大など国公立MBAも安定した人気を誇っている

(注) 2022年入試は速報値

早稲田 (夜プロ/経営) は秋入試のみ、それ以外は秋冬合算の数値

8

8

秋入試と冬入試の違い

HUB秋入試 受験者・合格者推移 (表記は実施年)

	2018合格	2019合格	2020合格	2021合格	2022合格
分析 (一般)	22	18	22	15	19
分析 (外国)	13	15	17	13	10
管理	47	54	39	35	48
ホスピ	8	12	4	5	3
金融	31	34	31	32	32

	2018受験	2019受験	2020受験	2021受験	2022受験
分析 (一般)	61	56	61	71	70
分析 (外国)	59	40	47	80	45
管理	162	183	178	177	205
ホスピ	18	24	13	11	9
金融	104	106	76	73	69

	2018率	2019率	2020率	2021率	2022率
分析 (一般)	36.1%	32.1%	36.1%	21.1%	27.1%
分析 (外国)	22.0%	37.5%	36.2%	16.3%	22.2%
管理	29.0%	29.5%	21.9%	19.8%	23.4%
ホスピ	44.4%	50.0%	30.8%	45.5%	33.3%
金融	29.8%	32.1%	40.8%	43.8%	46.4%

HUB冬入試 受験者・合格者推移 (表記は実施年)

	2018合格	2019合格	2020合格	2021合格	2022合格
分析 (一般)					
分析 (外国)					
管理			18	21	13
ホスピ			4	3	3
金融	12	9	11	13	13

	2018受験	2019受験	2020受験	2021受験	2022受験
分析 (一般)					
分析 (外国)					
管理			107	107	136
ホスピ			19	9	7
金融	44	38	34	50	32

	2018率	2019率	2020率	2021率	2022率
分析 (一般)					
分析 (外国)					
管理	#DIV/0!	#DIV/0!	16.8%	19.6%	9.6%
ホスピ	#DIV/0!	#DIV/0!	21.1%	33.3%	42.9%
金融	27.3%	23.7%	32.4%	26.0%	40.6%

一橋MBAを例にとると、

2022年秋：4.27倍

2022年冬：10.46倍

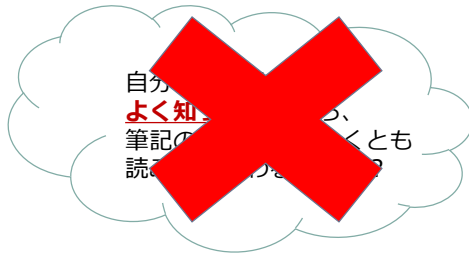
と大差が生じた

9

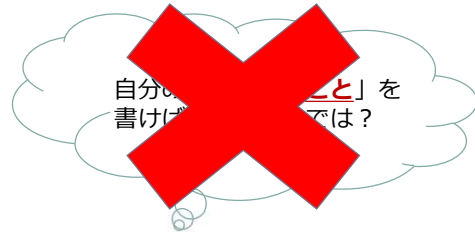
9

志望者が考えること

- 筆記試験や研究計画書に対する一般的なイメージ



読み手に伝わる文章を書くためには、
筆記を解く力が必要となる！



10

10

試験に対する正しい認識をもつ

- MBA入試は筆記、研究計画書、面接の**総合点**で争う
 - 他の受験者より** 1点でも多く点を取ることを意識する
 - 点数と実力は必ずしも一致しない → **実力を点に結びつける練習**が必要
 - 万が一不合格であれば、**全科目をゼロベースで見直す**必要がある
- 1次合格 ≠ 筆記合格
 - 1次合格はあくまで**足切り点を超えた**に留まる
 - 総合点で合格圏内に入るためには、足切り点以上のスコアが必要
 - 足切り点は概ね4割 → 合格圏に入るには**概ね6割**が必要

11

11

書く力を備えるには



- 問いに答える要件を知り、書く演習を繰り返す
(志望校が課す試験科目にかかわらず)

オリジナリティがある
専門用語に頼りすぎない
MBAの趣旨と整合している など

MBA合格を固める
研究計画書の要件

表現が明確 (あいまいさがない)
根拠に説得力がある
必要十分な文章量で書かれている

MBA合格に求められる
論理的な文章の要件

問いを的確に押さえている
論証 (主張と根拠) を組み立てる
問われたことだけに答える

問いに答える
最低限の要件

12

12

入試突破のポイント

- 自身の考えを**論理的**に表現する力を備えているか
 - 特に、筆記試験や書類作成に対応できる「書く力」を備えているか
 - 限られた時間で情報を的確に処理し、論理的で一貫性のある文章を書く能力が必須
- 自己分析**を徹底し確固たる**目標意識**を備えることができるか
 - これまでの業務を**客観的に**説明し、評価できているか
(読み手は**皆さんのことを全く知らない**ことを熟知する)
 - 企業組織、ないしはビジネスに貢献できるキャリアゴールを持ち、その達成手段として「なぜビジネススクールに進学するか」を、明確に説明できるか
- 志望校に対する**柔軟な姿勢**
 - 一発勝負は戦略上極めて不利
 - 自己分析やキャリアゴールを複眼的に検証するには、併願が有効

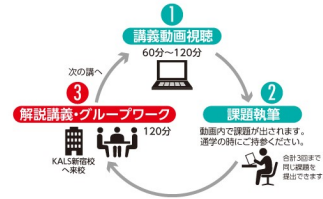
13

13

KALSのカリキュラム

INPUTとOUTPUTを繰り返し、合格力を養う

- INPUT
 - 過去の傾向から合格に必要な情報を絞り込んだ**テキスト**を使用
 - 受講環境を選ばず基本知識を習得できる**eラーニング**を導入
- OUTPUT
 - **提出課題**
 - 厳選した過去問を繰り返し解き、入試突破に必要な思考力、文章構成能力を身につける
 - **グループワーク** *通学クラス（新宿・新大阪）
 - 講義動画の内容をフィードバックし、論理的表現力を高める
- 最新の情報を校舎、専用Webにて共有
- ビジネススクールやOB・OGのネットワークを活用



14

14

2022-23年度合格実績（3月14日現在・五十音順）



【私立】

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科	15名
（うち デイタイムコース）	4名
（うち イブニングコース）	11名
関西学院大学大学院経営戦略研究科	3名
慶應義塾大学大学院経営管理研究科(KBS)	6名
中央大学大学院戦略経営研究科	3名
法政大学大学院経営学研究科	1名
明治大学大学院グローバルマネジメント研究科	5名
立教大学大学院ビジネスデザイン研究科	10名
早稲田大学大学院経営管理研究科(WBS)	14名
（うち 全日制グローバル）	5名
（うち 一年生総合）	1名
（うち 夜間主総合）	7名
（うち 夜間主プロフェッショナル）	1名

合計 89名

【国公立】

北九州市立大学大学院マネジメント研究科	1名
京都大学大学院経営管理教育部	1名
神戸大学大学院経営学研究科	1名
筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院	4名
東京工業大学環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程	1名
東京都立大学大学院経営学研究科	9名
一橋大学大学院経営管理研究科	12名
（うち 経営分析プログラム）	2名
（うち 経営管理プログラム）	9名
（うち ホスピタリティプログラム）	1名
横浜国立大学大学院国際社会科学府経営学専攻	3名

*上記実績は河合塾KALS有料講座受講者からの報告に基づくものです。
報告者全体のビジネススクール合格率は70.1%(127名受験89名合格)となっております。

15

15

参考書籍のご案内



- 晶文社より
『国内MBA受験のための筆記試験の解き方』
『新版 国内MBA受験のための研究計画書の書き方』発売中です
- 筆記試験本は河合塾KALS講座のテキストとなります

ご静聴ありがとうございました